

提出は不要です。

**必要事項を入力いただきますと各様式に反映されます。
必ず最初に必要事項を入力してください。**

入力シート（実績）（省エネ改修型）

< 完了実績報告時 基本情報入力シート >

1. **【確認】**
この完了実績報告様式のデータは次の事業です。

事業名	令和元年度地域型住宅グリーン化事業
事業の種類	省エネ改修型

間違いありませんか？

2. **【確認】**
完了実績報告書類は、対象住宅毎に作成していただきます。
この入力シートの提出は不要です。

3. **【入力】**
最初に色が付いた部分に各項目の情報を正しく入力してください。
入力した情報は、完了実績報告の各様式上部に反映されます。

グループ番号（下4桁の数字）	0999
グループ名称	〇〇木造住宅供給協議会
事業者番号（5桁の数字）	12345
施工事業者	
法人・個人事業主等の名称	株式会社〇〇工務店
代表者の役職名	代表取締役
代表者の氏名	長持 太郎
住所	東京 都道府県 新宿区神楽坂1丁目2番地△△ビル6階
建築主名※	フリガナ ナガク スミオ 長久 住雄
建築主名※	フリガナ ナガク クラシコ 長久 暮子

※連名の場合は建築主名①に代表の方、他の方は建築主名②に記入し他の方が複数の場合は建築主名②に併記
法人の場合は建築主名①に「名称」、建築主名②に「代表者の役職及び代表者名」を記入
1人の建築主が複数物件申請する場合は申請物件が特定出来るように部屋番号等を建築主①に併記

4. **【再確認】**
入力が終わりましたら、上記で入力した事項が正しいかもう一度確認してください。

5. **【留意事項】**
※ 完了実績報告後に上記に入力した事項に誤記が見つかった場合は、入力情報を修正のうえ再提出していただきます。

※ 各様式は、修正液、修正テープ等により修正や、訂正印を用いての修正はできません。

令和元年度地域型住宅グリーン化事業（省エネ改修型）

グループ番号は、半角 4桁で入力してください。
※グループ番号は、グループに確認してください。

グループ名称を入力してください。

実施支援室からグループ事務局に通知しました事業者番号の5桁を記入してください。
施工事業者は、グループに番号を確認してください。

施工事業者の名称、代表者名は、適用申請書に記載された内容と同様に入力してください。
特に漢字の間違えにご注意ください。（旧字などに注意）

適用申請書の記載事項と異なる場合は計画変更が必要です。

「請負契約書」において建築主が連名の場合は、上段に代表となる建築主名下段にその他の建築主名を入力のうえ、必ず連名にて申請を行ってください。

様式8 (省エネ改修型)

事業者番号	12345
-------	-------

報告日 令和 2 年 1 月 15 日

「入力シート」の内容が反映されます。

地域型住宅グリーン化事業実施支援室 殿

令和元年度地域型住宅グリーン化事業補助金完了実績報告書

下記の交付決定日及び交付決定通知番号をもって交付決定を受けた標記事業が完了したので、令和元年度地域型住宅グリーン化事業補助金交付規程第10第1項の規定により、関係書類を添え、下記の通り報告します。報告にあたっては、補助事業者及び対象住宅が本事業の要件やグループの共通ルールに適合していること、補助事業者及び対象住宅の建設に関する法令を遵守することに間違いありません。

なお、グループ代表者及び事務局担当者を申請代理人と定め、令和元年度地域型住宅グリーン化事業補助金の交付申請等の手続きに関する一切の権限を委任します。

記

1. 補助事業者

所属グループ番号	0999	所属グループ名称	〇〇木造住宅供給協議会
----------	------	----------	-------------

「入力シート」の内容が反映されます。

法人・個人事業主等の名称	株式会社〇〇工務店	会社の代表者印・個人事業主の場合は実印
代表者氏名	代表取締役	印
住所	東京都 新宿区神楽坂1丁目2番地△△ビル6階	

「入力シート」の内容が反映されます。

交付申請 様式2と同じ代表者印を押印してください。

2. 完了実績報告する住宅の建築主

建築主名①	フリガナ ナガク スミオ 長久 住雄
建築主名② (連名の場合)	フリガナ ナガク クラシコ 長久 暮子

「入力シート」の内容が反映されます。

※連名の場合は建築主名①に代表の方、他の方は建築主名②に記入し他の方が複数の場合は建築主名②に併記
法人の場合は建築主名①に「名称」、建築主名②に「代表者の役職及び代表者名」を記入
1人の建築主が複数物件申請する場合は申請物件が特定出来るように部屋番号等を建築主①に併記

3. 交付決定日及び交付決定番号

交付決定日・番号	令和 元 年 9 月 10 日 01改 0999 交第 12345 - 05 号
----------	--

交付決定通知書の右上の日付、番号を転記してください。

交付決定通知書に記載されている決定日、番号を記載してください。

4. 補助金の交付決定額及び精算額

補助金の交付決定額	50万円
補助金の精算額	50万円

交付決定通知書の交付決定額を転記してください。

完了実績報告時点の補助額を記載してください。変更が無ければ交付決定額と同じです。

5. 補助事業の実施期間 (様式9の通り)

6. 補助事業の成果 (別添書類のとおり)

交付決定額及び精算額を記載してください。

(注意事項)

- 交付申請書は、1住戸につき1枚作成してください。
- 修正液、修正テープ等や訂正印での修正はできません。(提出書類共通)

(注) この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

令和元年度地域型住宅グリーン化事業 (省エネ改修型)

様式9 (省エネ改修型)

グループ番号	0999	事業者番号	12345	建築主等	長久 住雄
--------	------	-------	-------	------	-------

「入力シート」の内容が反映されます。

対象住宅・建築物の概要

1. 補助事業の実施期間

着工日	令和元年10月10日	～	事業完了日	令和元年12月20日
<small>根切り工事又は基礎杭打ち工事に着手した日↑</small>			<small>引き渡し日又は契約額の全額精算日のいずれが遅い日</small>	

着工日 = 解体・撤去を開始した日
事業完了日 = 工事完了引渡し日以降、契約額の全額精算日のいずれが遅い日で正しく記載してください。

2. 対象住宅の概要

<input type="checkbox"/> 交付決定時と記載事項に相違ありません。	
<input checked="" type="checkbox"/> 交付決定時と記載事項が異なります。相違事項は以下のとおりです。 → 以下に相違部分のみ記載してください。	
建設地の地名番	東京 都道府県
申請時と表記が異なる理由	()
構造	<input type="checkbox"/> 木造のみ <input type="checkbox"/> 混構造(木造+鉄筋コンクリート造、木造と鉄骨造等)
階数	地上 階 地下 階 階建
築年数	年
対象住宅の面積	119.20 m ² ※インナーガレージ部分の面積を除く <small>※対象住宅の面積は少数点第三位以下切り捨て</small>

交付様式3に記載した内容から変更がないか確認してください。

交付様式3に記載した内容と相違する項目のみ変更後の内容を記載ください。

3. 確認申請手続き

<input type="checkbox"/> 確認申請が必要な住宅	<input checked="" type="checkbox"/> 確認申請が不要な住宅
-------------------------------------	--

該当する内容にチェックをしてください。

4. 対象住宅に係わる住宅省エネルギー技術講習会等修了者等

平成24年度から平成30年度までに住宅省エネルギー技術講習会(施工技術者講習会、設計者講習会)	
講習会修了者の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 設計者 <input type="checkbox"/> 施工管理者 <input type="checkbox"/> 大工技能者
氏名・受講者番号	氏名 認定 三郎 受講番号 014-14-C99※※
本事業で定める令和元年度に実施する講習会※	
講習会名	
氏名・受講者番号	氏名

※講習会は評価事務局のホームページに掲載

対象住宅に関わった省エネ講習会修了者の情報を記入ください。

5. 改修工事の内容

改修工事の内容について	
交付決定時からの変更	<input checked="" type="checkbox"/> 有り※
※変更有りの場合	「対象工事パターン表」による場合 → 様式9-3、様式10のとおり 「積み上げ」による場合 → 様式9-3、様式10-2のとおり

交付時に提出した工事請負契約額から変更がある場合は、有りにチェックを入れたうえで様式10を提出してください。

6. 対象住宅の経費等(積み上げによる場合に限る)

工事請負契約の契約額、経費の内訳及び他の補助事業の補助金について	
交付決定時からの変更	<input type="checkbox"/> 有り※
※変更有りの場合	様式10-2様式のとおり

(注) この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

完了実績報告に係わる対象住宅について
 交付決定を受けた内容からの変更の有無の確認、及び、
 現地確認による改修後の一次エネルギー消費量計算の内容に基づ
 く工事が行われ完了したことを証明する様式です。

提出は原本です。

様式9-2 (省エネ改修型)

グループ番号	0999	事業者番号	12345	建築主	長久 住雄
--------	------	-------	-------	-----	-------

建築士による適合確認書

令和 元年 12 月 18 日

完了実績報告に係る下記住宅の整備内容について、交付決定を受けた内容からの変更の有無を確認し、現地確認により改修後の一次エネルギー消費量計算の内容に基づく工事の内容に従って工事が行われ完了したことを証明します。

資格 二級 建築士 (〇〇県知事) 登録 第 987654 号 氏名 設計 志郎 印

1. 証明する住宅

建設地の番	東京 都道府県	新宿区神楽坂15	「入力シート」の内容が反映されます。
建築主※	長久 住雄		

※連名の場合は併記、法人の場合は「名称、代表者の役職及び代表者名」を記載し、

2. 変更の有無の確認

改修後の一次エネルギー消費量計算の結果について

<input type="checkbox"/>	交付決定時から変更はありません。	
<input checked="" type="checkbox"/>	交付決定時から変更があり、次のとおりであることを確認しました。	
	改修後のBEIの値	1.06

改修後の一次エネルギー消費量計算の内容に基づく工事の内容について

<input checked="" type="checkbox"/>	交付決定時から変更はありません。
<input type="checkbox"/>	交付決定時から変更があり、次のとおりであることを確認しました。 → 「対象住宅の改修工事内容一覧(様式9-3)」の工事内容について
<input type="checkbox"/>	窓及び断熱材は「住宅部分の外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する基準及び一次エネルギー消費量に関する基準(平成28年1月29日国土交通省告示第266号)」において定める、地域の区分に応じた部位別の性能であること
<input type="checkbox"/>	設備は「マニュアル第1章2.6.3 表7省エネ改修型 対象工事パターン表」の設備で示す基準・性能を満たしたものであること
<input type="checkbox"/>	対象工事パターン表 による場合 → 「対象住宅・建築物の経費(様式10)」の「1.改修工事の実施内容及び経費の内訳」及び「2.設備の改修箇所一覧」と整合していること
<input type="checkbox"/>	積み上げ による場合 → 「対象住宅の経費(その2)(様式10-2)」の「改修区分」「改修箇所」「改修内容(仕様、数量等)」と整合していること

(注意事項)
 工事内容確認書を作成するにあたり、故意又は重大な過失による虚偽の記入・証明、未確認での記入・証明などの行為があったことが判明した場合には、建築士法第10条の規定に基づく懲戒処分の対象となる場合があります。

(注) この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること 令和元年度地域型住宅グリーン化事業(省エネ改修型)

「入力シート」の内容が反映されます。

様式9の事業完了日以前の確認とします。

工事完了後の内容が適正であることの確認を行った建築士の資格情報等と個人印を押印してください。
 また、適合確認を行った建築士の建築士免許の写しを提出してください。

該当する項目にチェックをしてください。

該当する項目にチェックをしてください。

交付申請時に提出した様式 3-3 の改修工事内容一覧に変更があった場合は、修正内容を含め全て記載ください。

様式 9-3 (省エネ改修型)

グループ番号	0999	事業者番号	12345	建築主等	長久 住雄
--------	------	-------	-------	------	-------

「入力シート」の内容が反映されます。

対象住宅の改修工事内容一覧

●平面図、立面図に「凡例」を示し、改修箇所、改修範囲を明示してください。

窓

凡例	改修箇所	改修する室名※1	建具の仕様	ガラスの種類
窓 1	主居室	L D K	アルミサッシ	普通複層ガラス (A 6)
窓 2	その他居室	1階和室 2階様式 1~3	アルミサッシ	普通複層ガラス (A 6)

※1 平面図の名称と合わせること
※2 必要に応じてカタログ等を提出していただきます。

断熱材

凡例	改修箇所	範囲	断熱材の種類	厚さ (mm)
断 1	床	全て	押出法ポリスチレンフォーム 3種 b A	65
断 2	外壁	1/2以上の範囲	グラスウール断熱材 高性能品 HG 16-38	150
断 3	天井	1/2以上の範囲	グラスウール断熱材 高性能品 HG 16-38	150
断 4				
断 5				

※ 必要に応じてカタログ等を提出していただきます。

設備

凡例	改修箇所	仕様、性能等
設 1	A. 電気ヒートポンプ給湯機 (エコキュート)	J I S C 9 2 2 0 に基づく年間給湯保温効率 3. 3 以上
設 2	C. LED照明	全照明の器具交換または電球交換
設 3	B. 高断熱浴槽	J I S A 5 5 3 2 規定品
設 4	B. 節湯水栓	J I S B 2 0 6 1 : 2 0 1 7 規定品 (台所水栓、浴室水栓、洗面水栓)
設 5		
設 6		

※ 必要に応じてカタログ等を提出していただきます。

記載する工事の範囲
(一次エネルギー消費量計算の諸条件に含まれるもの)
「対象工事パターン表」
選択したパターン全ての工事
「積み上げ」
補助対象とする工事を記載してください。

(注)この用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とすること。

交付申請時に提出した様式4のパターン表に変更があった場合は、修正内容を含め全て記載ください。

様式10 (省エネ改修型)

グループ番号	0999	事業者番号	12345	建築主等	長久 住雄
--------	------	-------	-------	------	-------

「入力シート」の内容が反映されます。

対象住宅・建築物の経費
(対象工事パターン表による場合)

1. 改修工事の実施内容及び経費の内訳

経費は、以下のパターンで実施する工事費

実施するパターン (いずれか1つ)	窓の改修箇所		断熱材の改修箇所			設備の改修箇所 改修工事を実施する設備について、「2.設備の改修箇所一覧」に チェックしてください。
	主居室	その他居室	床	外壁	天井	
<input type="checkbox"/> ①	告示	1室全窓	告示	1/2以上	告示	「改修する設備」のうち、いずれか1つ
<input type="checkbox"/> ②	告示	告示	1/2以上	1/2以上	告示	「改修する設備」のうち、いずれか2つ
<input type="checkbox"/> ③	告示	1室全窓	告示	1/4以上	告示	「改修する設備」のうち、いずれか3つ ※A分類・C分類のうち、いずれか1つ以上を含むこと
<input checked="" type="checkbox"/> ④	告示	告示	1/2以上	1/2以上	1/2以上	「改修する設備」のうち、いずれか3つ ※A分類・C分類のうち、いずれか2つ以上を含むこと ※A分類について、同時に2種類以上を採用する場合は対象外とする
<input type="checkbox"/> ⑤	告示	1室全窓	1/2以上	1/4以上	告示	「改修する設備」のうち、いずれか3つ ※A分類・C分類のうち、いずれか2つ以上を含むこと ※A分類について、同時に2種類以上を採用する場合は対象外とする
<input type="checkbox"/> ⑥	告示	1室全窓	告示	1/2以上		「改修する設備」のうち、いずれか4つ ※A分類・C分類のうち、いずれか2つ以上を含むこと ※A分類について、同時に2種類以上を採用する場合は対象外とする
<input type="checkbox"/> ⑦	告示		1/2以上		告示	「改修する設備」のうち、いずれか4つ ※A分類・C分類のうち、いずれか2つ以上を含むこと ※A分類について、同時に2種類以上を採用する場合は対象外とする
<input type="checkbox"/> ⑧	告示	1室全窓	1/2以上	1/4以上	1/2以上	「改修する設備」のうち、いずれか4つ ※A分類・C分類のうち、いずれか2つ以上を含むこと ※A分類について、同時に2種類以上を採用する場合は対象外とする ※B分類のうち潜熱回収型ガス給湯機(エコジョーズ)又は潜熱回収型石油給湯機(エコフィール)、C分類、D分類を同時に採用する場合は対象外とする
<input type="checkbox"/> ⑨		1室全窓		1/4以上	告示	「改修する設備」のうち、いずれか4つ ※A分類・C分類のうち、いずれか2つ以上を含むこと ※A分類について、同時に2種類以上を採用する場合は対象外とする ※B分類のうち潜熱回収型ガス給湯機(エコジョーズ)又は潜熱回収型石油給湯機(エコフィール)、C分類、D分類を同時に採用する場合は対象外とする
<input type="checkbox"/> ⑩	告示	1室全窓	告示	1/4以上		「改修する設備」のうち、いずれか5つ ※A分類・C分類のうち、いずれか2つ以上を含むこと ※A分類について、同時に2種類以上を採用する場合は対象外とする

実際に行ったパターンにチェックをしてください。

2. 設備の改修箇所一覧

分類	改修する設備
A	<input checked="" type="checkbox"/> 電気ヒートポンプ給湯機 (エコキュート)
	<input checked="" type="checkbox"/> ヒートポンプ ガス瞬間式 併用型給湯機 (ハイブリッド給湯機)
	<input type="checkbox"/> ソーラーシステム (太陽熱利用システム) (強制循環式)
B	<input type="checkbox"/> 潜熱回収型ガス給湯器 (エコジョーズ)
	<input type="checkbox"/> 潜熱回収型石油給湯機 (エコフィール)
	<input type="checkbox"/> 換気設備 (全熱交換)
C	<input checked="" type="checkbox"/> 高断熱浴槽 + 節湯水栓 (台所・浴室・洗面所の全て)
D	<input checked="" type="checkbox"/> LED照明 (主居室、その他居室、非居室の全て)
D	<input type="checkbox"/> 高効率暖冷房エアコン (主居室及び全てのその他居室)

改修した設備にチェックをしてください。

3. 交付申請額

50万円

定額申請になりますので、金額を修正しないでください。

(注)この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

交付申請時に提出した様式 4-2 の積み上げ表に変更があった場合は、修正内容を含め全て記載ください。

様式 10-2 (省エネ改修型)

グループ番号	0999	事業者番号	12345	建築主等	長久 住雄
--------	------	-------	-------	------	-------

「入力シート」の内容が反映されます。

対象住宅の経費 (その 2)
(積み上げによる場合)

1. 契約額

工事請負契約の契約額 (消費税抜き) (A)	4,617,000 円
------------------------	-------------

最終の請負契約額 (税抜き) を記入してください。

変更があるときは、変更に関する工事請負契約書の写しを提出

2. 改修工事の実施内容及び経費の内訳

改修区分	改修箇所	改修内容 (仕様・数量等)	工事費 (消費税抜き)
窓	主居室	窓枠・ガラス交換・アルミサッシ・複層ガラス ○箇所	200,000 円
窓	その他居室	窓枠・ガラス交換・アルミサッシ・複層ガラス ○箇所	412,000 円
断熱材	床	断熱材交換・押出法ポリスチレンフォーム ○○㎡	607,200 円
断熱材	外壁	断熱材交換・グラスウール断熱材・高性能品 ○○㎡	150,000 円
断熱材	天井	断熱材交換・グラスウール断熱材・高性能品 ○○㎡	270,300 円
設備	A.電気ヒートポンプ給湯機 (エコキュート)	給湯器交換 エコキュート 1台	390,000 円
設備	B.高断熱浴槽	ユニットバス交換 高断熱浴槽 1箇所	220,000 円
設備	B.節湯水栓	水栓交換 3箇所	85,000 円
			円
			円
			円
			円
		工事費合計 (B)	2,334,500 円

補助対象工事の改修区分と改修箇所はプルダウンで選択してください。改修内容 (仕様・数量等) の内訳を記入してください。工事費は税抜き金額を記入してください。

※値引きは工事項目になりません補助対象工事分を按分して計上してください。※ユニットバスは、浴槽のみ補助対象となりますのでご注意ください。

経費に計上できる工事は、「表7省エネ改修型対象工事パターン」で示す区分と改修箇所のうち、一次エネルギー消費量計算で設定したものに限り混構造の場合は、木造部分に設けるもののみ計上すること契約に値引き等がある場合は計上すること

変更があるときは、契約書の明細を提出

3. 他の補助事業の補助金

国庫を含まない補助金の額 (C)	0 円
------------------	-----

対象住宅において国の補助金が含まれていない補助制度を活用した場合は、その補助額を記入してください。

国の補助金が含まれる場合、併用できない事業もありますので都度確認をお願いします。

4. 補助対象工事費の算出

補助対象工事費 (B)-(C)	2,334,500 円	≥ 150万円
-----------------	-------------	---------

5. 交付申請額

50万円

定額申請になりますので、金額を修正しないでください。

(B)-(C)が150万円を超えていることを確認してください。

(注)この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

この様式は、消費税込みの金額です。

様式 1 1 (省エネ改修型)

グループ番号	0999	事業者番号	12345	建築主等	長久 住雄
--------	------	-------	-------	------	-------

「入力シート」の内容が反映されます。

支払い記録の確認

1. 工事請負契約等の契約額

工事請負契約書等※	工事費等の金額 (消費税込み)	補助対象工事費 (契約に補助対象工事を含むか否か)	
契約額	4,674,240 円		
変更契約等の金額①	312,120 円	<input checked="" type="checkbox"/> 含む	<input type="checkbox"/> 含まない
変更契約等の金額②	円	<input type="checkbox"/> 含む	<input type="checkbox"/> 含まない
変更契約等の金額③	円	<input type="checkbox"/> 含む	<input type="checkbox"/> 含まない
変更契約等の金額④	円	<input type="checkbox"/> 含む	<input type="checkbox"/> 含まない
変更契約等の金額⑤	円	<input type="checkbox"/> 含む	<input type="checkbox"/> 含まない
確認手数料、印紙代などの補助事業者立替え額の合計		明細は別紙の通り	
契約額の合計 (A)	4,986,360 円		

※工事費に変更が有る場合は変更契約書等添付

契約額は、交付時に提出した工事請負契約書の税込込み金額です。

変更契約ごとに税込み金額を記載してください。各契約書に補助対象工事費の有無をチェックしてください。

確認手数料、印紙代など契約書に含まれない補助対象外の費用を含めて支払いが行われた場合その費用を記載し明細を示してください。

2. 工事費の支払い額

支払い記録の区分	支払い額	支払い年月日 (支払い記録の日付)	添付書類※2	
			領収書	送金伝票等
支払い記録の額①	100,000 円	令和 元 年 7 月 20 日	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
支払い記録の額②	2,442,316 円	令和 元 年 10 月 15 日	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
支払い記録の額③	2,442,316 円	令和 元 年 12 月 20 日	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
支払い記録の額④	円	令和 年 月 日	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
支払い記録の額⑤	円	令和 年 月 日	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
支払い記録の額⑥	円	令和 年 月 日	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
支払い記録の額⑦	円	令和 年 月 日	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
支払い記録の額⑧	円	令和 年 月 日	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
補助事業者負担の振込手数料の合計	1,728 円	別紙の通り		
支払い記録の額の合計 (B)	4,986,360 円			

※2「領収書」及び「送金伝票等」の両方が揃わない場合は、補助金が支払われないことや減額となる場合があります。

「現金支払いに対する領収書」のみでの確認は出来ませんのでご注意ください。領収書と送金伝票等をセットで提出してください。

施工事業者が負担する振込手数料のみ合計で記入ください。

3. 支払い完了の確認

(A) - (B)	0 円	OK
-----------	-----	----

最終の工事請負契約額(A)と支払い額(B)の差額が0円であることを確認ください。

- (注) 契約額(A)の合計と支払い記録の額の合計(B)が一致していることを確認ください。
- ・「領収書」及び「送金伝票等」はA4サイズの紙にコピーし添付してください。
 - ・「領収書」及び「送金伝票等」の写しに、上記「支払い記録の区分」の番号(①、②、③・・・)を鉛筆で記載してください。
 - ・「送金伝票等」として通帳の写しを添付する場合は、精算額が確認できる該当のページと、その通帳の名義が表示されている部分の写しも提出してください。
 - ・確認手数料、印紙代など諸経費と工事費が一緒に入金されている場合は、金額が確認できる明細を添付のうえ「確認手数料、印紙代などの補助事業者立替え額の合計」欄に金額をご記入下さい。

(注) この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

令和元年度地域型住宅グリーン化事業 (省エネ改修型)

撮影の際の注意:

撮影した箇所が平面図で位置確認ができるよう、周りを入れて撮影してください。

様式 13-2 (省エネ改修型)

グループ番号	0999	事業者番号	12345	建築主等	長久 住雄
--------	------	-------	-------	------	-------

「入力シート」の内容が反映されます。

**対象住宅の改修前の現地写真
＜改修箇所毎の写真＞**

使用する配分額の採択通知の番号※		国住木 第	24	—	999	号
改修区分	改修箇所	工事内容				
断熱材	外壁	断熱材交換				

国土交通省よりグループ事務局へ発出された採択通知書(書面右上)にある番号を記載してください。

改修区分、改修箇所はプルダウンで選択できます。

写真貼付け

写真を貼り付ける際は、縦・横の比率を変更せず枠いっぱいに大きくすること。

信憑性確認機能(改ざん検知機能)を有するデジタル工事写真の黒板情報電子化対応ソフトウェア			
アプリ名		バージョン	

写真内に必ず工事看板を入れて撮影してください。看板には、**建築主名**
撮影日
事業者名記載が必要です。印刷した際に ~ の情報が読み取れるか確認のうえ提出ください。

写真貼付け

写真を貼り付ける際は、縦・横の比率を変更せず枠いっぱいに大きくすること。

信憑性確認機能(改ざん検知機能)を有するデジタル工事写真の黒板情報電子化対応ソフトウェア			
アプリ名		バージョン	

電子黒板は、原則使用不可です。詳しくは、マニュアル 第一章別紙2を参照してください。

(注) この用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 とすること。

令和元年度地域型住宅グリーン化事業 (省エネ改修型)

必ずカラー印刷で提出してください。

看板の文字がわかる事を確認ください。

写真の比率を変更せず貼り付けてください。

撮影の際の注意:
撮影した箇所が平面図で位置確認ができるよう、周りを入れて撮影してください。

様式 1 4 (省エネ改修型)

グループ番号	0999	事業者番号	12345	建築主等	長久 住雄
--------	------	-------	-------	------	-------

「入力シート」の内容が
 反映されます。

対象住宅・建築物の工事完了後の現地写真

外 観	<p>写真張り付け欄</p> <p>・写真を貼り付ける際は、縦・横の比率を変更せず、枠いっぱい大きくすること。</p>			
	<p>信憑性確認機能（改ざん検知機能）を有するデジタル工事写真の黒板情報電子化対応ソフトウェア</p>			
	アプリ名		バージョン	
内 観	<p>写真張り付け欄</p> <p>・写真を貼り付ける際は、縦・横の比率を変更せず、枠いっぱい大きくすること。</p>			
	<p>信憑性確認機能（改ざん検知機能）を有するデジタル工事写真の黒板情報電子化対応ソフトウェア</p>			
	アプリ名		バージョン	

写真内に必ず工事看板を入れて
 撮影してください。
 看板には、
建築主名
撮影日
事業者名
 記載が必要です。
 印刷した際に ~ の情報が
 読み取れるか確認のうえ提出
 ください。

電子黒板は、原則使用不可です。
 詳しくは、マニュアル 第一章
 別紙2を参照してください。

(注)この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

令和元年度地域型住宅グリーン化事業（省エネ改修型）

必ずカラー印刷で提出してください。

看板の文字がわかる事を確認ください。

写真の比率を変更せず貼り付けてください。

令和元年度地域型住宅グリーン化事業（省エネ改修型）

提出は原本です。

様式15 (省エネ改修型)

グループ番号	0999	事業者番号	12345	建築主等	長久 住雄
--------	------	-------	-------	------	-------

請 求 書

請求額 **500,000 円**

ただし、令和元年度地域型住宅グリーン化事業に係る国庫補助金として、上記の金額を請求いたします。

令和 年 月 日

地域型住宅グリーン化事業実施支援室 殿

注意: 日付は空欄で提出ください。

請求者		- 会社の代表者印 - 個人事業主 の場合は実印
法人・個人事業主等の名称	株式会社□□工務店	印
代表者	長持 太郎	

様式8と同じ印を使用すること。↑

振込口座は全ての住宅で同一として以下のとおり登録します。

振込口座	<input type="checkbox"/> 2回目以降の提出 (以下記入不要です)								
金融機関	銀行番号	9	9	9	9	機関名 (カガカ)	ダイニッポンギンコウ		
支店	支店番号	6	6	6		支店名 (カガカ)	カグラザカ		
預金種別	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 当座	<input type="checkbox"/> 貯蓄	- いずれかを選択してください。					
口座番号					3	3	3	3	- 右詰めで記載してください。
口座名 (全てカタカナで記入)	カブシキカイシャ □□コムテン ナガモチ タロウ								

↑ 銀行等で登録されている口座名を正しく記載してください。

(注) 振込口座は補助事業者名義となります。
振込口座は、1事業者につき1箇所となります。
申請窓口や対象住宅毎に異なる振込口座とすることはできません。
申請窓口において初回の提出時は振込口座を必ず記載してください。

(注)この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

令和元年度地域型住宅グリーン化事業 (省エネ改修型)

「入力シート」の内容が反映されます。

対象建築物の請求額を記入してください。

様式8と同じ印で押印ください。

同じ申請窓口で、2回目以降の報告であればチェックをしてください。振込先の記入は不要です。

振込み先は、補助事業者名義の口座です。金融機関名、支店名、口座名は必ず**カタカナ**で記入してください。